

# 岩手県の 土地改良



## CONTENTS

- 岩手県農業農村整備事業推進協議会が  
農村振興局幹部との意見交換会を開催 .....2
- 県営農地環境整備事業藤ヶ崎地区完工式 .....3
- 第36回岩手県土地改良換地士部会総会を開催 .....3
- 土地改良負担金対策の2事業が創設される .....4
- 職員相互の連携を図り、会員サービスの充実を .....5
- 疏水紀行 .....6

2009(7月号)No.543

■発行所/岩手県土地改良事業団体連合会 盛岡市本宮二丁目10番1号

TEL(盛岡)019(631)3200 FAX(盛岡)019(631)3260

■編集発行人/川邊 賢治 ■印刷所/永代印刷株式会社

<http://www.iwatochi.com>

野菜いろいろ(岩手郡岩手町) 平成20年度農村景観写真コンクール応募作品





# 岩手県農業農村整備事業推進協議会が 農村振興局幹部との意見交換会を開催

## ▶ 農業農村整備事業の予算確保と着実な推進などを要請

岩手県農業農村整備事業推進協議会（会長：舘澤宏邦 水土里ネットいわて会長）では、6月30日、農林水産省地方提案推進室において、農林水産省農村振興局幹部と協議会役員ら18名が出席のもと平成22年度農業農村整備事業の予算確保と着実な推進に向けての意見交換会を開催した。

はじめに舘澤会長が挨拶で「岩手は日本の食糧基地であり、いろいろな事業を推進してきた。しかし、高齢化や後継者の問題など全国共通の課題があるなか、我々も協議会を通して農業農村を守るために頑張っている。今回初めての試みとなるが、忌憚のない意見交換ができればと考えている」と述べた。

つづいて、農村振興局 なまご 瀧戸

水資源課施設保全管理室長は「国も、地方も財政が厳しい状況ではあるが、農業農村の発展のためにいろいろ知恵を絞っているところである。我々としても今後の事業の方向を見極めるうえで、日頃皆さんが考えている話を伺いたい」と挨拶した。

出席者紹介のあと行われた意見交換では、協議会から「国営造成施設管理体制整備促進事業の平成22年度以降の継続と拡充」など3項目について要請。

これに対し、農村振興局の幹部は「国営造成施設管理体制整備促進事業の第3期対策については、来年度の予算要求の中でも最重要事項と位置づけており、現場の声としてこの事業による効果などについて、強くアピールしていただければと思

う」と述べた。

このほか、協議会役員からは「農業水利施設は、親水空間や社会教育の場として利用されることが多く、対応する経費を改良区の財源で賄う部分が大きい。公的経費支援をお願いしたい」「中山間地域直接支払制度を通じて、条件不利地域の農地や農業用水等の資源が良好に保全管理され、維持管理体制も定着している。こうした取り組みを継続しつつ更に展開していくうえでも、平成22年度以降の第3期対策をお願いしたい」など現場の実状を訴えた。

その後協議会役員らは、吉村馨農村振興局長や齋藤晴美次長に対しても要請活動を展開し理解を求めた。

### 【要請項目】

1. 国営造成施設管理体制整備促進事業の平成22年度以降の継続と拡充について
2. 農業水利施設の保全管理施策の充実について
3. 水土里情報利活用促進事業の推進について



## 県営農地環境整備事業 藤ヶ崎地区 完工式

### ▶ 多角的経営と効率的な農業を目指す

藤ヶ崎地区完工祝賀会実行委員会（委員長：藤原勝志事業運営委員会副会長）は、事業の完了に伴い7月5日、グリーンパレス大東において完工式典を開催した。

県や市などの関係者約60名が参加して行われた式典で、藤原委員長は「当地区は、典型的な中山間地域で、水田の区画が小さく不正形で、耕作に多くの労力を費やす状況であった。また、農業環境の激変等により地



【挨拶する藤原実行委員長】

域の将来を憂慮していたところであった。本事業により「美生藤郷」の碑銘のとおり、地域の財産となる立派で美しい農地となり感謝申し上げます。今後は整

備された水田を有効に活用し、多角経営と効率的な農業を目指していく」と挨拶を述べた。

本事業は、平成14年4月に県営事業として採択され、7年余の

歳月を費やしこの度完工をむかえた。

本事業の完工により、新たな藤ヶ崎地区独自の農業確立への取り組みが期待される。

## 第36回岩手県土地改良換地士部会総会を開催

### ▶ 新換地士部会長に佐藤光広氏を選任

岩手県土地改良換地士部会（部会長：中村 勉 水土里ネット石鳥谷東部 換地県営係長）では6月19日、水土里ネットいわて会議室において25名の土地改良換地士参加のもと、「第36回岩手県土地改良換地士部会総会」を開催した。

冒頭で中村部会長は「換地は事業の総仕上げの重責を担っている。事業規模が年々減少傾向であるが、現在県内には約20地区の換地業務があり、会員各位の今後の活躍に期待する」と挨拶を述べた。

総会では、議長に水土里ネット胆沢平野の藤田 優氏を選出し、「平成20年度事業経過報告の承認について」「平成21年度事業実施計画（案）の承認について」「土地改良換地士部会新規加入者の承認について」「役員を選任について」の4議案を審議し満場一致で可決された。新換地士部会長には佐藤 光広氏（水土里ネット豊沢川 業務課長）を選任した。



【挨拶する中村 部会長】

同部会は、現在会員88名で、県内の換地業務の適正で円滑な推進のため、研修会等による換地士の資質の向上を図るほか、換地に関する調査、研究、情報提供を行う事としている。



# 土地改良負担金対策事業が創設される

## ▶ 農家の方々の償還金の負担軽減に是非ご活用を

百年に一度の経済危機という状況の中、全国各地で農家の方々の土地改良負担金の計画的な償還が困難になってきている状況であります。

このような現状を打開し農家の償還金の負担軽減を図るため、新規に土地改良負担金対策の2事業が創設されました。

この2事業を導入することにより、地元農家の方々の償還金の負担軽減と農地の利用集積を推進が図られますので、各水土里ネット・市町村の方々におかれましては、導入のご検討の程よろしくお願いいたします。

なお、お問い合わせは水土里ネットいわて総務管理部管理指導課まで、ご連絡願います。

### ○ 経営安定対策基盤整備緊急支援事業の概要

土地改良事業等の農家負担金を償還中の地区であって、償還額が一定額以上の地区で農地利用集積の増加等が見込まれる地域に対して、平成21～27年度の各年度の年償還金の利子助成を行います。

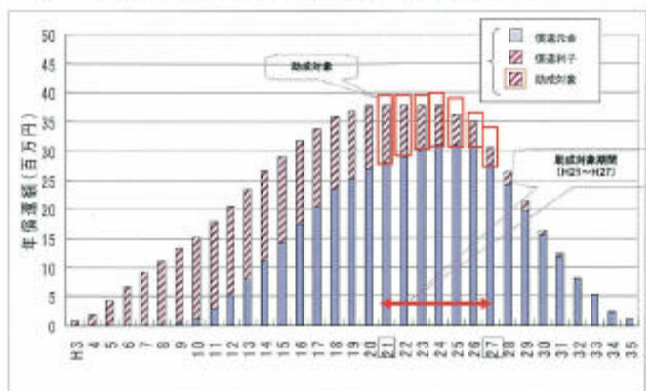
1. 事業実施主体 全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）
2. 助成対象地域

土地改良事業等の農家負担金を償還中の地区で、以下の(1)及び(2)の要件を満たす地域に助成額を交付します。

- (1) 農家負担金の合算総償還額が87千円／10a以上または1,470千円／戸以上、若しくは事業の農家負担率が一定割合以上であること
- (2) 経営所得安定対策加入者などの担い手への農地利用集積率の増加等が一定割合以上見込まれること（詳細は、右表のとおり）
3. 助成額 平成21～27年度の各年度の年償還金の利子相当額
4. 助成対象組織 土地改良区等

	事業実施前	目標
①	10%未満	15%以上へ
②	10～25%未満	5ポイント以上増加
③	25～27.5%未満	30%以上へ
④	27.5～45%未満	2.5ポイント以上増加
⑤	45～47.5%未満	47.5%以上へ
⑥	47.5%以上	シェアを増加

経営安定対策基盤整備緊急支援事業のイメージ









# いわて シリーズ 疏水紀行 ⑧

「岩手県の土地改良」では、県内の疏水の歴史や疏水を通じ活動を展開する水土里ネットをシリーズで掲載しております。

8回目となる今回は、現在の北上市更木地区の水不足を解消するために元禄時代に開削された「仁兵衛堰」を紹介いたします。

## みづこいやま 水乞山から眺むる大志の流れ にへいぜき [仁兵衛堰]

### 平野仁兵衛が私財を投じて開削した「仁兵衛堰」

更木地区は、古くから稲作が行われていましたが、用水に乏しく沢水やため池に頼るしかありませんでした。特に元禄年間、連年のように不作が続いたため、何とか水不足を解消することはできないのかと村人らは頭を悩ませていました。

そこで、平野仁兵衛は私財を投じて猿ヶ石川（当時の図には猿ヶ瀬川）から取水して高木や、島を経由し更木まで用水を引く大工事に着手しました。

その工事は、元禄11～14年（1699～1702年）の3年間の歳月をかけて、4654間（8461m）の用水路と1832間（3330m）の排水路が開削され、その灌漑面積は179町5反（約178ha）に及ぶとされています。

この工事に要した人員や資材は、平野家に残る資料によると、土工人夫20,400人、石工7,600人、木挽93人、

大工380人。資材は、釘7寸物1,900本、鉄材52貫、木材大小合わせて1,100本などあり、壮大な工事であったことがうかがわれます。（更木村三村用水堰代間数人足入用品帳（元禄14年正月）より）

なお、この時代の開田事業や水利事業は、藩営事業いわゆる公共事業であったのに対し、この事業は私財を投じて行われた私営事業であったことが他の地区と比べて特異なところです。

### 郷土の先人の偉業を伝える「影絵劇」や演劇

仁兵衛堰とその開削者である平野仁兵衛の偉業を讃え、平成11年に更木小学校卒業生とその父母らによって「影絵劇」が同小学校で上演され、こ

のことがきっかけとなり、今では北上市民劇場で「仁兵衛堰ものがたり～水乞山のふもとは黄金色～」が上演されるなど、地域子ども達や市民らによって、語り継がれています。

また、岩手県でも、「紙芝居」を制作し各地のイベントなどで、「仁兵衛堰」を紹介しています。



### 水土里ネット岩手中部 (旧 更木島東部土地改良区)

理事長: 菊池 勲  
事務所: 北上市藤沢19地割124番地6  
TEL: 0197-63-3104

